

西田 典史：日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 講師
学位：修士（スポーツ科学）（就任：平成 21 年 4 月）

○教育担当科目

運動学、運動学実習、臨床運動学、作業療法学見学実習、作業療法学見学実習セミナー、作業療法学総合臨床実習Ⅰセミナー、作業療法学総合臨床実習Ⅱセミナー、作業療法評価学臨床実習セミナー、老年期障害作業療法学、老年期障害作業療法学演習、総合作業療法学演習、地域作業療法学、地域作業療法学演習、作業療法評価学臨床実習、作業療法学総合臨床実習Ⅰ、作業療法学総合臨床実習Ⅱ、卒業研究

○業績目録

I. 著書：単独著書、分担執筆（辞書、全集などを含む）、翻訳、編集および監修など

1. 訪問リハビリテーションにおける「運動」「動作」「行為」－作業療法士の立場から－（共著）：自立支援とリハビリテーション. 3巻4号, 日総研, 西田典史; 102-109, 2005.
2. 介護予防五十三次「趣味活動と介護予防」（共著）：月刊デイ. Vol. 100, QOL サービス, 西田典史; 69-72, (監修 大淵修一), 2008.
3. 作業療法で出会った人々：作業療法で出会った人々, 第3集, OTのむすぼれ研究会, 西田典史; 10-17, 2007.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 就任後の著書

II. 学術論文

①論文

1. 西田典史, 本田 豊, 西方浩一, 大橋幸子, 田島一美：訪問リハビリテーションの評価における一考察. 埼玉作業療法研究, No. 6 ; 3-7, 2005.
2. 田島一美, 本田 豊, 西方浩一, 大橋幸子, 西田典史：臨床実習直前の学生に対する「リスク管理」の授業の意義-ロールプレイを用いて問題提示した授業の評価と感想による考察-. 埼玉作業療法研究, No. 6 ; 25-29, 2005.
3. 大橋幸子, 林 隆司, 本田 豊, 田島一美, 西田典史：介護老人保健施設利用者の精神・心理機能がADLに及ぼす影響. 埼玉作業療法研究, No. 6 ; 8-12, 2005.
4. 本田 豊, 西田典史, 大橋幸子, 田島一美：健常成人の作業行動に関する一考察-達成行動における成功・失敗後の期待変化の研究-. 埼玉作業療法研究, No. 6 ; 20-24, 2005.
5. 大橋幸子, 林 隆司, 本田 豊, 田島一美, 西田典史：介護老人保健施設利用者の精神・心理機能がADLに及ぼす影響. 埼玉作業療法研究, No. 6 ; 8-12, 2005.
6. 西田典史：訪問リハビリテーション利用者におけるバランス能力に関する研究. 埼玉作業療法研究, No. 7 ; 24-30, 2006.
7. 西田典史, 本田 豊, 西方浩一, 大橋幸子, 田島一美：他職種連携運動プログラムによる在宅要介護高齢者の運動機能への影響. 埼玉作業療法研究, No. 7 ; 31-35, 2006.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の論文

1. 西田典史：在宅要介護高齢者におけるホームエクササイズに関する研究. 埼玉作業療法研究, No. 8 ; 26-30, 2007.
2. 西田典史：訪問リハビリテーション利用者におけるプロセス技能の規定要因に関する研

究. 埼玉作業療法研究, No. 8 ; 38-43, 2007.

3. 西田典史, 岡 浩一朗: 訪問リハビリテーション利用者における運動技能とプロセス技能に影響を及ぼす要因. 作業療法 27 ; 128-137, 2008.
4. 西田典史: 訪問リハビリテーション利用者における生活満足度と AMPS の関連. 埼玉作業療法研究, No. 9 ; 30-37, 2008.
5. 西田典史, 岡 浩一朗: 在宅高齢者における AMPS を活用した ADL/IADL スクリーニングの有効性. スポーツ科学研究, 6 ; 79-87, 2009.

②その他の論文

1. 本田 豊, 田島一美, 大橋幸子, 西田典史: 高齢者の回想量とQOLとの関連について. 埼玉城西学園研究紀要, No. 1 ; 69-73, 2006.
 2. 西田典史, 本田 豊, 西方浩一, 大橋幸子, 田島一美: 訪問リハビリテーションにおける運動負荷の検討. 埼玉城西学園研究紀要, No. 1 ; 59-64, 2006.
 3. 本田 豊, 大橋幸子, 田島一美, 西田典史: 更衣動作の自立度と作業遂行能力との関連 - 脳血管障害片麻痺者の場合 -. 埼玉城西学園研究紀要, No. 1 ; 65-68, 2006.
 4. 西田典史, 本田 豊, 西方浩一, 大橋幸子, 田島一美: 訪問リハビリテーション利用者におけるリスクマネジメントに関する研究. 埼玉城西学園研究紀要. No. 2 ; 11-17, 2007.
- △日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後のその他の論文

1. 西田典史: 脳血管障害高齢者における AMPS と身体活動の関連. 日本医療科学大学紀 2 ; 17-24, 2009.

IV. 学会および研究発表

【国内学会】

①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなど

1. 西田典史: 介護予防の効果を高めるために. 介護予防フォーラム, 豊島公会堂未来座いけぶくろ, 2008.

②一般演題などの発表

1. 本橋みどり, 伊藤芳保, 加藤真由美, 柳澤 勇, 塚田 勇, 大橋幸子, 西方浩一, 田島一美, 西田典史, 本田 豊: 臨床実習成績に及ぼす学生の心理的傾向. 第 40 回日本理学療法学会, 理学療法学 2005 ; 32 : 279.
2. 西田典史: 訪問リハビリテーションにおける運動負荷の検討. 第 40 回日本作業療法学会, 2006.
3. 西田典史: 訪問リハビリテーションでの運動実践におけるリスクと利用者の特徴についての調査. 第 41 回日本作業療法学会, 2007.
4. 西田典史: 訪問リハビリテーション利用者における運動技能とプロセス技能に影響を及ぼす要因. 第 42 回日本作業療法学会, 2008.
5. 徳永千尋, 西田典史, 長島いづみ: 高次脳機能障害を有する機能訓練事業通所者の就労への一援助-通所する 30 代男性の例を AMPS 的視点で評価した-. 第 42 回日本作業療法学会, 2008.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の一般演題の発表

1. 西田典史: 在宅高齢者における AMPS のカットオフ値の検証. 第 43 回日本作業療法学会, 2009.

V. 学術関連広報活動

①学会賞受賞、学会会長および世話人

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の業績

②その他

【委員歴】

1. 埼玉県作業療法士会理事；2009～（埼玉県作業療法士会）.
2. 紀要委員；2009～（日本医療科学大学保健医療学部）.

【大学院研究指導】

VI. 現在研究中のテーマ

1. 在宅高齢者の ADL/IADL を高めるプログラム開発
2. 運動機能評価法，プログラムの開発
3. 作業活動を用いた評価法，プログラム開発
4. 介護予防
5. プライオメトリックス